

社団法人 地盤工学会
基準部会
 平成 21 年度第 4 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 21 年 11 月 10 日 (火) 14:30 ~ 17:30					場所	地盤工学会 会議室	
部長	高橋 邦夫		理事	江藤 芳武		幹事	仙頭 紀明	
部員	伊貝 聡司		部員	長田 昌彦	×	部員	川崎 了	×
部員	岸田 潔		部員	関野 武志	×	部員	豊田 浩史	
部員	西岡 英俊	×	部員	平井 貴雄	×	部員	利藤 房男	
ワザバ-	寺本 邦一	×						

: H20 年度新任 : 出席 : 出席 (電子会議) : 代理出席 × : 欠席

配付資料

資料番号	資料
資料-21.4.0	平成 21 年度 第 3 回基準部会議事録案
資料-21.4.1	平成 22 年度予算 第 1 次案および参考資料
資料-21.4.2	平成 22 年度事業方針・活動 (案)
資料-21.4.3	基準部規程改定案
資料-21.4.4	刊行物の寄贈規程
資料-21.4.5	「JIS A 1221 スウェーデン式サウンディング試験方法」の改正素案
資料-21.4.6	「JIS A 1221 スウェーデン式サウンディング試験方法」の改正提案箇所抽出表
資料-21.4.7	「地盤調査 基本と手引」増刷資料
資料-21.4.8	「コルゲートメタルカルバート・マニュアル」増刷資料
資料-21.4.9	「岩石の工学的分類方法」増刷資料
資料-21.4.10	理事会報告資料 [9/24 開催議事録案]
資料-21.4.11	地盤工学表記法委員会報告資料 [9/18 開催議事録案]
資料-21.4.12	室内試験規格基準委員会報告資料 [9/24 開催議事録案]
資料-21.4.13	地盤調査規格基準委員会報告資料 [11/5 開催議題書]
資料-21.4.14	会員からの質問への対応 (地盤調査対応)
資料-21.4.15	「地盤調査の方法と解説」改訂版の目次構成案と担当ワーキング表
資料-21.4.16	規格・基準の ISO 規格との整合化に関する方針策定の依頼文書
別添資料 - 1	
別添資料 - 2	

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-21.4.0)
原案通り承認された。
2. 全体関係 (資料-21.4.1)
 - (1) 平成 22 年度の予算案 (資料-21.4.1)
基準部の 22 年度の第一次予算について事務局より説明があった。各委員会から来年度の活動予定を聞き取り、作成したものである。第 2 次予算作成については、活動の優先度（規格基準の改訂作業等）に配慮し、予算の一律削減は行わないこととする。
 - (2) 平成 22 年度活動計画案 (資料-21.4.2)
委員会の幹事にファイルを送付するので、内容を修正の上、事務局に送付する。
- 総務部提出 (3) 定款、規定の変更に伴う基準部規程の変更 (資料-21.4.3)
原案通り承認された。
3. 委員等の異動
理事会報告 (1) 委員の追加 (メール審議済)
ISO/TC190 国内専門委員会 (メール審議済)
・中森 泰三 氏 (横浜国立大学)
理由: TC190 国内専門委員会の SC4 (生物学的手法) では、土壌環境が土壌動物、微生物等におよぼす影響試験に関する標準化活動を行っている。
中森氏は、土壌汚染影響に関する専門家であるとともに、OECD 等の国際リングテストにも参加している。以上のことから中森氏を委員として追加することを申請する。
参考資料: 添付資料として推薦文を添付します。
上記委員の追加を承認した。
- (2) 交代
4. ISO 国内委員会 関係
理事会報告 (1) 海外派遣 (メール審議済)
ISO/TC190 総会
期間: 2009 年 11 月 1 日 ~ 11 月 7 日
訪問国: 韓国・ソウル
派遣者: 坂井委員 (ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG リーダー), 野上太郎委員,
肴倉宏史委員, 中森泰三委員, 中島誠委員, 王寧委員
理由: 年 1 回開催される TC190 の総会で、今年は 24 回目となる。我が国が convener を務める SC3/WG10 等、平行して SC および WG の会議が約 30 開催され、継続的に派遣を行ってきており、各 SC および WG でも中心的なメンバーとして活躍している。
費用: 中島委員と王委員は、土壌環境センターが旅費を負担。
野上委員は、経済産業省受託事業での対応。
坂井委員は、「平成 20 年度重点 TC 等国際会議派遣委託事業 (TC182,190,221)」としての旅費支援の内諾を得ている。
肴倉委員と中森委員は地盤工学会負担。
上記委員の派遣を承認した。
5. 地盤工学表記法委員会 関係
特になし。
6. 室内試験規格・基準委員会 関係
理事会審議 (1) 「地盤材料試験の方法と解説」の著者割引販売 (資料-21.4.4)
「地盤材料試験の方法と解説」を著者に対して半額で販売することを承認した。ただし著者 1 人につき 1 冊とする。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

理事会報告 (1) JIS 改正素案

(資料-21.4.5, 6)

JIS A 1221 スウェーデン式サウンディング試験方法

大幅な内容の変更がないことから、指摘事項の修正および新旧対比表を完成させることを条件に規格を承認した。

(2) 地盤調査の方法と解説の改訂にかかわる確認事項 (ISO 規格への対応方針に関して)

(資料-21.4.15, 16)

JIS 規格・JGS 基準の ISO 規格との整合化について、基準部会の今後の対応方針について議論が行われた。具体的には、地盤調査規格の改訂に向けて、すでに一部の規格において問題が顕在化しており、年度内には部会としての方針を明確化する必要があること、ISO 規格の投票状況等に関する基準部内の情報共有、規格・基準をメンテナンスしている WG における情報把握の問題点等について議論が行われた。室内試験規格・基準委員会および ISO 国内委員会とも密接な関連があるため、各委員会で意見を集約し、次回の部会にて再度議論を行うこととなった。

(3) 基準の小冊子発刊に関する変更

・平成 17 年に制定された「JGS 3721-2005 ボアホール・エクステンソメータによる岩盤内変位測定方法」が未公表であったので、急ぎ小冊子として発刊したい。

平成 20 年第 6 回部会承認事項

掲載基準：(1) 埋設ひずみ法による初期地圧の測定方法
(2) 円錐孔底ひずみ法による初期地圧の測定方法
(3) ボアホール・傾斜計による岩盤内変位測定方法
印刷部数：必要最小部数 (200 部)
販売価格：会員特価 1,500 円 (税込、事務局案)

上記の未公表の基準を含めた 4 基準を 1 冊の小冊子にまとめて発刊することを承認した。価格は会員特価 1,500 円とする。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし。

9. 販売促進 WG

特になし。

10. 基準部所管刊行物

理事会報告 (1) 地盤調査 - 基本と手引き -

(資料-21.4.7)

1,000 部の増刷を承認した。

理事会報告 (2) コルゲートメタルカルバート・マニュアル

(資料-21.4.8)

300 部の増刷を承認した。

理事会報告 (3) 新規制定地盤工学会基準・同解説書「岩石の工学的分類方法」

(資料

-21.4.9)

200 部の増刷を承認した。

11. その他

特になし。

報告事項

1. 理事会 (9 月 24 日) 開催報告

(資料-21.4.10)

JIS 規格等の著作物利用の契約 (相手先：日本規格協会) について江藤理事より説明がなされた。著作権の侵害にあたる恐れがある第 4 条を除外して契約を結ぶことが報告された。

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

理事会報告 平成 21 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	検討中				
・三菱総合研究所 (回答作成)	60 万円			2/26	
・三菱総合研究所 (重点TC旅費)	160 万円				
・経済産業省		350 万円		3/16	
小計	220 万円	350 万円	: 上限, 予算は 620 万円		
合計	570 万円				

土木学会からの助成 (約 100 万円) が受けられる見込みである。(ただし、地盤工学会の会計処理対象とはならない。)

(2) 地盤工学表記法委員会

H21 第 3 回委員会 (9 月 18 日開催) 報告

(資料-21.4.11)

第 3 回委員会議事録をもとに活動報告があった。用語の JIS 化については、まだ全体像を把握している段階で、今後の作業の方向性はまだ明確になっていない旨の報告がなされた。

(3) 室内試験規格・基準委員会

H21 第 3 回委員会 (9 月 24 日開催) 報告

(資料-21.4.12)

赤本改訂版の編集状況

第 3 回委員会議事録をもとに活動報告があった。「地盤材料試験の方法と解説」は 2 分冊とし、価格は 14,000 円 (会員価格) , 20,000 円 (通常価格) であることが報告された。また解説中の土質柱状図の表記に JACIC と JGS で相違があることが報告された。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

H21 第 3 回委員会 (11 月 5 日開催) 報告

(資料-21.4.13)

会員からの質問の回答

(資料-21.4.14)

第 3 回委員会議事録をもとに活動報告があった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 販売促進 WG

学会書籍の販売促進キャンペーンが今年度も予定されていることが報告された。

4 . 日本工業標準調査会 土木部会

特になし。

H21 年度 基準部関係委員会開催状況

委 員 会 名		委員会開催日，太字は次回開催日
基準部会	北詰 昌樹	4/17，6/15，9/10， 11/10
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	木幡 行宏 (代行：木幡) 平田 健正 三木 博史	6/12，9/29， 12/4 6/12，9/29， 12/4 4/23，5/22，8/4，9/18，10/23
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性（土と岩） ・WG2 化学特性（H17 化学試験） ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性（土と岩） ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG8 特殊土 ・WG9 ベンダーエレメント試験基準化検討 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG11 赤本改訂版の総説執筆に関する WG	後藤 聡 古河 幸雄 川地 武 大島 昭彦 龍岡 文夫 北詰 昌樹 木幡 行宏 三浦 清一 山下 聡 安川 郁夫 後藤 聡	4/2 幹事会，4/16，7/24 7/3 幹事会，7/21 幹事会，9/4 幹事会 9/11（関西），10/27（関西）
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 原位置載荷 ・WG6 現場密度 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析(透気試験) ・WG9 傾斜計による岩盤内変位測定方法基準化 ・WG10 初期地圧の測定方法基準化 ・WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正 ・WG12 貫入式地盤硬度計基準化	三村 衛 松島 潤 木村 英雄 井尻 裕二 田中 洋行 谷 和夫 小早川博亮 浅井 健一 宮口 新治 亀村 勝美 石田 毅 藤井 衛 北村 良介	5/13，8/3，11/5， 1/29 4/10，6/5，7/27，8/31，9/18，10/16， 11/9 8/31 7/7 4/10，5/7 7/10， 12/4 6/29
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	4/15，7/8，8/7，9/9 6/10，9/8，10/9 幹事会， 12/8 4/1 幹事会，4/16 幹事会，5/27 幹事 会，6/4 幹事会，6/26，11/9， 12/21 ， 1/18
地盤工学表記法 ・WG1 用語および用語の定義 ・WG2 データシートおよび情報化	岸田 隆夫 岸田 隆夫 (鈴木明夫)	4/9，6/3，7/22，9/18

5. その他

1) 理事会(平成21年11月27日(金)開催予定)への審議事項・報告事項

2) 総務部会(平成21年 月 日()開催予定)への提案事項

3) 次回以降の部会開催日

・ 21年度第5回: 平成21年 月 日()14:00時~

(対応理事会 H22.1.22)

平成21年度 理事会・運営連絡会議 開催日程(予定含む)

理事会

運営連絡会議

4月24日(金)

5月15日(金)

5月28日(木) 総会/理事会

6月26日(金)

7月24日(金)

9月28日(月)

10月23日(金)

11月27日(金)

12月25日(金)

H20年1月22日(金)

2月26日(金)

3月19日(金)

4月23日(金)

5月14日(金)

5月27日(木) 総会/理事会